

# くよみ通信

No. 22 2020/09/01

## 青陵の森・エントランス 付近の整備 (松山・記)

8月6日、本日は「広場」の突き当りの斜面(巾約2・3m × 奥行4m位の範囲)のササ・アオキその他、種々の草・ツル・枯木・朽ち木等を斜面奥に纏めて廃棄整理をした。  
虫に好かれないのは良いが暑さには弱い。然し工藤さんは凄いいパワーだ。私は1/5位しかなさそうだ、恐れ入りました。

皆さん頑張っている。

広場には「ヤブムラサキ」が実を付けていた。

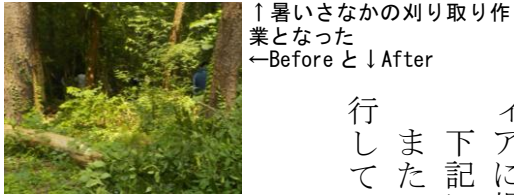
又同じ広場の「クサギ」は名札を付けてあるが、花はまだ咲いていない。

「珀杜」さんが受け持った広場の先の通路の「クサギ」は何故か咲いていた。

いくつかのメディアに掲載されました。

最近、くよみの会の活動が目されるようで、様々なメディアに掲載されています。

下記に紹介しておきます。また8月4日、仙台市で発行している地域情報誌「おら



↑暑いさなかの刈り取り作業となった  
←Beforeと↓After



## 青陵の森で樹名板を取り付けました

仙台青陵中等教育学校の敷地内にある「青陵の森」には、市内を流れる梅田川の源流があり、60種以上の樹木や多くの野鳥などを観察することができます。この魅力を伝えるため、青葉区中央市民センターと吉成市民センターが共同で実施する住民参画・問題解決型学習推進事業の一環として、地域ボランティア団体「くよみ郷土研究会」が、「青陵の森」の整備や吉成地域の自然・歴史資源の調査など、さまざまな活動を行ってきました。

7月30日には「青陵の森」の豊かな自然を学び、感じる事ができるように、くよみ郷土研究会と仙台青陵中等教育学校の在校生および卒業生の保護者による有志団体「珀杜」が協力して樹名板を作成し、取り付けました。研究会の木村会長は「生徒や地域の方々にとって、身近な森になることを願っています」と期待を込めて話してくれました。

関吉成市民センター ☎279・2033



←仙台(青葉区)市政だより9月号に掲載



樹名板学習に役立てて

樹名板を幹に取り付ける郷土研究会の会員

8/5 ミニマタ

## 2020年9・10月の活動予定

### 9/3(木)

#### 「芋澤街道を極める」

- ◆貝ヶ森市民センター～
- 集合 10:00 貝ヶ森市民センター
- 会員のみ参加

### 9/15(火)

#### 「樹名板贈呈式」

- ◆校長室で行われます
- 集合 13:20 青陵中等教育学校
- 会員のみ参加。終了後、森へ

### 9/17(木)

#### 「青陵の森の観察会」

- ◆植物観察担当を決めます
- 集合 10:00 青陵の森
- 会員のみ参加

### 10/1(木)

#### 「横向山の石碑群」散策

- ◆案内は中川継助氏
- 集合 10:00 活牛寺駐車場
- 会員のみ参加

ほ！のまちづくり」の熊谷氏と打ち合わせもありました。今後、同行取材して、掲載したいのとこのとでした。(なお、予定していた8月20日の活動は、暑さのために中止しました。)